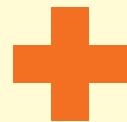


水垢撃退の決定版!

セットでお得
キャンペーン実施中!!
マジックファイバー
プレゼント



研磨用ポリエスルネット

ポリッシュアップメッシュ

「水垢がこんなに落ちると気持ちよくてクセになる」



衛生陶器用研磨剤

クリスタルポリッシュ

「水垢がある場所を思わず探してしまう」



佐藤満春のトイレな話 シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

今年もやってくるぞトイレ月間

佐藤満春です。

以前もこのコラムで触れているかと思いま
すが、今年も「トイレ月間」がやってきます!こ
に目を通しておられる方にとっては当たり前かもし
れませんが、11月にはトイレにまつわる記念
日が2つほどあります。1年にこんな月は11月
だけです。

まずは11月10日。

11(イイ)10(トイレ)の日というごろ合わせ
で、日本トイレ協会によって制定された日で
す。制定されたのは1986(昭和61)年11月
10日ということで、かなり歴史もあります。日
本トイレ協会が開催した第一回「トイレシンボ

ジウム」で発表されたそうです。基本的には
僕もトイレの日といえば11月10日、という認
識でいました。

しかし!!増えたのです!!

「世界トイレの日」11月19日です。
2013年に11月19日は「世界トイレの日
(World Toilet Day)」と定められました。国
連によって制定されています。

世界にはまだ安全で清潔なトイレ環境が整っ
ていない地域がたくさんあります。そのトイレ
環境をよくしていくういうのが「世界トイレの
日」ができた狙いです。

我々の日常生活は恵まれたトイレ環境で

生活をしているため感覚は麻痺しているかも
しませんが、世界には目も当てられない環
境で排泄せざるをえない方々がたくさんいる
のです。日本にいながらもできることはあると
思いますので、1年に1度、このタイミングで
改めて考えていくのもよいかかもしれません。

ちなみに、今やグーグルなどネットで「ト
イレの日」と打ち込むと、ほとんどが11月
19日の記事ばかり見かけます。もしかしたら
そういう意識が高まりつつあるのかもしれません。

こちらでも様々な活動に注目していこうと
思います!



トイレ歳時記 11月

11月は「トイレ月間」
11月10日はトイレの日、11月19日は世界トイレの日。
11月19日(火)には文化シャッターホールでトイレシンボジウム、11
月13日(水)~15日(金)まで東京ビッグサイトでトイレ産業展が開
かれます。



Mr.ベンのトイレ探検隊いかがでしたでしょうか?日本が気に入ったMr.ベンは
しばらく日本に滞在して、佐藤満春さん率いる「サトミツ&ザ・トイレッツ」のライ
ブにも登場するのでは?という情報も聞きつけました。ベンやんやオールドベン
ももちろん応援に駆けつけてくれることでしょう。トイレコラボが楽しみですね。

あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル **0120-57-1110**

トイレを楽しくする新聞
かわや版
KAWAYABAN
2019 晩秋号 Vol.81



多摩ニュータウン トイレたんけん隊

めぐ じくうりょこう
Mr.ベンと巡るトイレとうんちの時空旅行



公園トイレに関する調査結果を展示するという企画展が開催されているという情報をキャッチ!
かわや版編集室でも訪問させていただきました。



パルテノン多摩歴史ミュージアム
開館時間:10時~18時

東京都南西部の町田市、八王子市、多摩市、稲城市の丘陵地にまたがる多摩ニュータウンは、東西約15km、南北約5kmにわたる日本最大のニュータウンです。2019年7月19日から11月11日まで、多摩ニュータウン内にある多摩市複合文化施設「パルテノン多摩」の歴史ミュージアム企画コーナーで「多摩ニュータウントイレたんけん隊 Mr.ベンと巡るトイレとうんちの時空旅行」が展示され

ています。企画したのは多摩市文化振興財団の学芸員の仙仁徑(せんにけい)さん。仙仁さんは生き物や植物がご専門で、トイレとは関係が無いような気がしますが、「植物の観察会などで多摩ニュータウン内の公園をいくつも巡り歩く時にどうしても必要になる公衆トイレを意識するようになった」と、この企画展を開催するきっかけを語ってくれました。そこで、子どもたちの夏休みに合わせて、

「アメリカ出身のニュータウントイレ研究家 Mr.ベンが、日本のニュータウントイレ調査のために来日した」という一風変わったストーリー仕立ての楽しい展示が開催されることになりました。このMr.ベンたちキャラクターも仙仁さんご自身で描かれたとのこと。キャラクターなどの細かい設定も見所です。

*ニュータウンとは?
都市の過密化への対策として、郊外に新たに造成供給された市街地のこと。

では、皆さんもMr.ベンと一緒に「トイレとうんちの時空旅行」にご案内しましょう。



Mr.ベン

アメリカ東部の街、ラドバーン出身。(ラドバーンは世界のニュータウンのお手本になった街として有名。)昔から公園の公衆トイレが好きだったベンは「ニュータウン国際トイレ協会」のメンバー。世界のニュータウントイレを調査しています。トイレットペーパーはシングル派で温水洗浄便座は未体験。

イラスト©多摩市文化振興財団



ベンやん

日本で最初の大規模ニュータウン開発が行われた大阪府の千里ニュータウンの出身。阪神ファンでたこ焼き大好き。



オールドベン

多摩ニュータウンがまだ「多摩村」と呼ばれていた頃の生まれ。多摩の変遷をその目で見てきた生き字引。多摩ニュータウン散歩が趣味。

自治体によって違う公園トイレ

来日したMr.ベンは全国各地のニュータウンのトイレを調査していきます。しかし、思ったよりも公園トイレが少なく困っていました。最後の望みを掛けて多摩ニュータウンのトイレを調査に乗り出しました。

実は公園トイレの設置は自治体によってかなりの差があります。例えば横浜市では遠くからの利用者が多いなど、特に必要性が高い場合に限りトイレが設置されており、公園トイレ設置率は1割程度に留まります。一方東京23区では9割強の公園にトイレが設置されており、自治体による方針の違いが浮き彫りになっています。

Mr.ベンの多摩ニュータウントイレコレクション

1971年から人が暮らし始めた多摩ニュータウンは、その後約40年かけて団地が作られていった。ということは、古いトイレから新しいトイレまで、いろんなトイレが発見できそうだ、と期待に胸を膨らませるMr.ベンでした。調査の結果、多摩ニュータウンには325箇所の公園があり、そのうちの124箇所にトイレがあった。街には計画的に公園やトイレが配置されていることがわかりました。



トイレのかみさま?

調査中に用を足そうとトイレに入るMr.ベン。ところがOh!No!紙がありません。同じく隣の個室には大阪の千里ニュータウンからやってきたベンやんも紙がなくて困っていたのでした。そんな二人を助けたのは、多摩地区に昔から住むオールドベンでした。

1973年のオイルショック時のトイレットペーパーの買いだめは、千里ニュータウンから始まったそうです。ニュータウンで設置され始めた水洗トイレに流すトイレットペーパーがなくなつては困ると、主婦の口コミと報道により全国に広まつた騒動だったのでした。

昔のトイレ

Mr.ベンとベンやんは、オールドベンから開発前の多摩の暮らしや昔のトイレや水洗化について教えてもらいました。

農家の多かった多摩地区では、化学肥料が登場する1960年ごろまで、排泄物は下肥(しもごえ)と言って大切な肥料でした。わざわざ遠くの街までもらいに行くこともあったそうです。



市の農家で使われていたトイレの足置き。スリッパを履くように足を乗せて用を足しました。

まとめ

いかがでしたでしょうか?今回の展示を通して、「街づくり」や「ニュータウン」についても知ることができ、公衆トイレには「街の個性を形作るもの」という側面があるということを感じました。今回の展示は来場者の方からも好評で、企画した仙仁さんは「生活に密着したテーマというところが良かったのではないか」と振り返ってくれました。また、「当たり前にある日常も、客観的な視点で見ると案外おもしろいよ」という意味を込めて主人公を外国人にしたということです。皆さんのまわりの公園トイレも改めて見てみると新しい発見があるかもしれませんね。



企画展終了以降は場所と形を変えて展示される予定です。4階廊下展示「多摩ニュータウンのめくるめく公園トイレの世界」

11月14日(木)~2020年3月31日(火)9時~18時

多摩ニュータウン公衆トイレ総選挙

来場者アンケートで人気の高かつた公衆トイレを紹介します。



都立小山内裏公園トイレ(渡辺一富氏撮影)
バンガロー風の外観であたたか味が感じられる



多摩ニュータウンは4つの市にまたがっており、トイレの設置者も、都、市、UR、住宅供給公社とさまざまです。さらに設置年代もまちまちなことからこのようなデザインも多様な公衆トイレが生まれました。



1974年につくられた永山団地(上、田中ひろ氏撮影)
と2014年から人が暮らし始めた東山(下、多摩市文化振興財團撮影)など、街が造られた年代でトイレも様々。



多摩ニュータウントイレマップ

介護福祉サービスを通じて社会の未来に
「あしあと」を残せる100年企業を目指します

有料老人ホーム・デイサービス

それいゆ東谷山様

●設立:平成29年12月
●住所:鹿児島市東谷山2丁目6-1

お客様訪問

No.50



今回のお客様訪問は、鹿児島県で有料老人ホーム・デイサービスを行っているそれいゆ東谷山さんです。施設長の松林秀実さんと広報部の福丸律子さんにお話を伺いました。



女優の多部未華子さんに似ていると評判の広報担当の福丸律子さん



▲6階のデイルーム。桜島の火山灰が飛んでくることもあります

■アメニティのトイレメンテナンスを導入していかがでしょうか?

私どもは、日本最南端の路面電車の停留場である鹿児島市電の谷山電停から徒歩1分のところで有料老人ホームとデイサービスを行っています。6階建てのビルの1階から5階が老人ホーム23部屋、6階がデイサービス施設になっていて、デイサービスには最大で18名の方が通われています。どの階からも桜島の景色が一望できて、利用される方も景色を楽しんでいらっしゃいます。

■アメニティを導入したきっかけを教えていただけますか?

このビルも築30年近く経ちますので、いろいろなところに問題がありました。トイレの換気をしたくて窓がうまく開けることができず、思うように換気できなかったり…。介護施設なので基本的にどうしても排泄物の臭い等ありますので、市販の消臭スプレーで対処したりもしたのですが、なかなか効果がなかったり、在庫を切らしてしまうこともあります。担当の森さんは勤めてトイレのリフレッシュメンテナンスをして、その後リピートメンテナンスで消臭剤も導入して毎月管理してもらっています。

■アメニティの担当者に一言お願いします。

担当の森さんは私たちが気に

も留めなかつたことを気がついてくれて、水道の設備やトイレの清掃方法のことなどアドバイスしてくれるので本当にありがたいです。「森さんがいなかつたら今ごろうちのビルはボロボロだったよ」なんて冗談で言ってるくらいです。いらっしゃる時には利用者の方ともいつの間にか打ち解けていて、私たちが気付かなかつた利用者の方の要望なども拾い上げて伝えてくれるので、トイレのメンテナンスという範囲を超えて助けていただいている。これからも宜しくお願ひします。

◀トイレには森林浴消臭剤が設置されています



浴室の水栓には節水システムと
シャワーヘッドも導入されています

☆私が担当しています!☆



SHOP
アメニティ鹿児島
森広一郎(もりこういちろう)さん トイレ診断士ID: 10-0206-0271

いつもお世話になり、ありがとうございます。最初の出会いはちょうど台風が来ており、近くの川が氾濫した時でした(苦笑)。悪天候の中、意気投合したのを覚えています。それいゆ東谷山様の6Fのデイサービスからは桜島も一望でき、ロケーションばっちり、マンション型なのでおしゃれ、小人数なので家族的、明るく住みやすい施設です。最近では私がトイレルームで作業していると、入居者様から「あそこ、こうなっているよ」等々指摘してもらい、かなり助かっています。

トイレルームの快適さが、入居者様・従業員の方々の笑顔を引き出せる様に、今後も尽力していきますので、宜しくお願い致します。



▲窓の外には雄大な桜島が、市電が走るのも見えます。